

2012 年度報告書（研究員）

氏 名	辛島理人
職 位	研究員（フルタイム）
<p>研究概要</p> <p>これまで、板垣與一ら経済学者の戦時期と敗戦直後における東南アジアへの関わりについて研究を行ってきた。引き続き社会科学者のアジア関与を主題としつつ、今後は社会民主主義の一形態としての民主社会主義とフィランソロピーに焦点をあてた研究を行った。民主社会主義を議論するにあたり、研究の時期区分を冷戦・55年体制確立前後から60年代末とした。資料を用いた研究とともに、元官僚や社会科学者への聞き取り調査を行った。研究に際し、日本学術振興会およびトヨタ財団より助成金を受けた。</p>	
<p>業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）</p> <p>論文</p> <p>「戦後日本の社会科学とアメリカのフィランソロピー ―一九五〇―六〇年代における日米反共リベラルの交流とロックフェラー財団―」、『日本研究』第45集、2012年</p> <p>「開発思想における戦前と戦後（仮題）」、酒井哲哉ほか編（シリーズ 日本の外交）『外交思想』岩波書店、2013年</p> <p>報告</p> <p>「環境政策史」、『環境経済・政策学会2012年大会』、東北大学、2012年</p> <p>「社会民主主義とアジア」、『環境政策史研究会第11回』、山梨・ぶどうの丘、2012年</p> <p>その他</p> <p>事典項目</p> <p>「軍事産業」、「阿部謹也」、「宇沢弘文」、「ガルブレイス」、「フリードマン」、「マーシャル」、「森嶋通夫」、「ワルラス」、見田宗介・大澤真幸・吉見俊哉・鷺田清一編『現代社会学事典』弘文堂、2012年</p> <p>翻訳</p> <p>テッサ・モーリス・スズキ、「想像された地図 メディア、政治、そして北東アジアの領土問題」、『現代思想』、40巻17号、pp196-200、2012年</p>	